

# 西部教育局からのお役立ち情報 今月のトピック紹介版

2月号



ミドルリーダーを中心に日々の授業を変える ~チェック機能をいかした授業改善~

Welcome to our school!(島根大学との共同研究) ~5人の留学生が学校にやってきた!! 児童・教師体験型外国語教育プログラム~

外国語教育の充実を図る!!! 〜小中連携を見据えて、 小学校・中学校ともに大切にしたい指導のポイント vol.1〜

特別支援教育ほっと通信 ~特別支援教育に関する参考資料の紹介~

> 学校訪問から見えた成果と課題 ~特別支援教育の視点から~

### ミドルリーダーを中心に日々の授業を変える ~チェック機能をいかした授業改善~

西部教育局 お役立ち情報 令和2年2月号

本年度の学校訪問では、授業参観や意見交換等お世話になりました。本号では、学校訪問から見えた成 果や課題と、ミドルリーダーを中心としたチェック機能をいかした授業改善の取組について紹介します。

### 学校訪問から見えた成果と課題

#### 【成果】

- □「めあて-まとめ・振り返り」やタイムマネジメントを 意識した授業ができている。
- 口教科や学年を越えて議論する等、一人一人の教 員が主体的に参加できる校内研となっている。

- 口教員主導の授業になりがちで、子供のつまずき の丁寧な見取りや支援が必要。
- □PDCAサイクルのPやDに陥りがちで、日々の授 業の丁寧な振り返りが必要。



課題解決の手立てとして、ミドルリーダーを中心としたチェック機能をいかした授業改善の取組 を紹介します。ぜひ参考にして、PDCAサイクルのCやAにつなげてください。

### 取組例①

#### 「研究通信」を使ってチェック

### 【春の学校訪問】

- 全学級の授業を公開
- 指導主事と意見交換



重点事項を共有し 授業実践



### 【秋の学校訪問】

- 全学級の授業を公開
- ・取組の振り返り

重点事項を共有し 授業実践

学校訪問で見えてきた課 題等について「研究通信」に まとめ、全職員で情報共有。

#### 「研究通信」で全体共有

#### 「研究通信(例)」

授業改善の重点事項について ~学校訪問の指導助言より~ 【今後の改善事項】

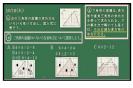
- 1. 「全員がわかる授業」にするために
- 〇板書の構造化を図る
- 2. まとめの明確化
- ○活動ではなく、ゴールイメージを大 切にする

「研究通信」で全体共有

# ② 取組例②

### 日々の板書記録を使ってチェック

他の学級の板書と比較検討できるよう、 板書を撮影し、C4th上で共有。

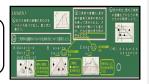




子供の思考過程が見える ようにするにはどうしたら いいのかなあ...。



わたしは、いつも子供の 発言を色チョークを使っ て板書していますよ。





写真記録を残しておくことで、同じ授業を学年 団や教科部会で振り返ることができます。



教員の授業評価を使ってチェック

「授業チェックリスト」を活用し、全教員が自己評 価。研究主任が個別にフィードバック。

### 「授業チェックリスト」

| ◇めあて       |   |
|------------|---|
|            | 本時のゴールイメージから「めあて」を構想している。①                                    |
|            | 「まとめ」と「めあて」が正対している。②  |
|            | 子供の疑問や気付きをもとに「めあて」を設定し、提示している。③                               |
| ◇まとめ       |   |
|            | 子供の発言から「まとめ」を作成し、板書に整理している。                                   |
|            | 教科ならではの学習用語を取り入れている。  |
|            | 理解確認のための問い返しをすることで、全ての子供が「まとめ」について具体<br>的にアウトブットできるようにしている。 ⑥ |
| -<br>◇振り返り |   |
|            | 具体的に振り返ることができるよう、振り返りの視点を示している。⑦                              |
| ◇タイムマネジメント |   |
|            | 時間内に本時の振り返りまで到達し、全ての子供が本時の学びを自覚できるよう<br>にしている。  ⑧             |



個別にフィードバックするだけでなく、学校全 体で課題の見られた項目を中心に校内研で 検討して授業改善を図ります。

### 取組例4

子供の授業評価を使ってチェック

子供による授業評価を通して、教員が日々の 授業を振り返る。

#### 【評価項目】

- ①先生は、授業規律について指導した。 ②「めあて-まとめ・振り返り」があった。
- ③授業のはじめに「授業の流れ」が あった。
- 4)自分で考えたり、調べたりする時間 があった。
- ⑤自分で考えたり、調べたりした内容 を発表する時間があった。
- ⑥班で意見を出し合う時間があった。
- ⑦授業内容が黒板にまとめられていた





授業評価の結果をレーダーチャート等で示 し、個々の授業を振り返ることで、授業改善 を図ります。

### Welcome to our school! (島根大学との共同研究)

~5人の留学生が学校にやってきた!!児童・教師体験型外国語教育プログラム~

### 児童と留学生との交流プログラム(授業・給食・掃除・全校集会)

### 1月17日の実施プログラム

9:45 留学生学校着 10:40~12:15 授業参観•交流

12:15~13:45 給食交流

13:45~14:00 全校集会での交流

15:00~16:45 教員対象体験型研修会

### これまで学習してきた外国語を使って、 児童は留学生とのコミュニケーションに 挑戦しました!



留学生の自己紹介・留学生VS児童のじゃんけん大会 全校集会(13:45~)







### 児童は留学生の話に興味津々。じゃんけん大会で勝った児童には、英語で質問 する権利が与えられました。

【児童の日記・感想より一部抜粋】

外国の人が話している時に分からな いことも多いけど、少しでも分かる ことがあるとうれしかったです。 (4年生)

外国語の時に外国の方が来られて、一緒に授業をしました。給食の 時、くじ引きでとなりになりました。あまり英語は得意ではないけ ど、今までに習った、覚えた単語を使って、少し話すことができた のでよかったです。またこういう機会があれば、もっとたくさん話 せるようになりたいです。(6年生)

### 教職員体験型研修会 (Small talkの実践)



児童だけでなく教員も、2年間外国語教育に取り組んできた成果を 英語を使ったやりとりの中で生かすことができました。



先生方





【先生方の感想より一部抜粋】

英語を使ってやり取りをする必然性を実感しました。実際の授業でも今日の やり取りに近い、話す・聞く必然性を意識して活動を組み立てていくことの 重要性を改めて感じました。

私自身が英語で自分の言いたいことが伝わるのが楽しいと感じました。

◆協力:島根大学教育学部 大谷みどり教授

◆プログラム開発:

米子市立明道小学校



# 外国語教育の充実を図る!!!

西部教育局からの お役立ち情報 (2020年2月号)

~小中連携を見据えて、小学校・中学校ともに大切にしたい指導のポイント vol.1~

### 文部科学省 山田誠志調査官招聘 米子市立伯仙小学校 公開授業・授業研究会(1/15)

《指導上の留意点》

帯活動で毎時間2文字 程度ずつ扱い、丁寧に 書くことを重視する

途中、児童に困ったことはなかったか、忘れてしまった言い方はなかったかを問う

1.Greeting

2.Jingle

3.Sound and letters

4.Small Talk

5.Let's Watch and Think

6.Game

7.Activity

8.Review

9.Greeting



### 今後の授業づくりで重視したいこと (参加者アンケートより)



本時で子供に使ってほしい英語 を教師がたくさん使い、子供と コミュニケーションすることを大 切にしていきたいです。

本時(単元)の...

### "ターゲットセンテンス"

本時のMain activity までに、Chantや ゲーム等で、ターゲットセンテンスを子供 が使う(聞く)場面にちりばめておく。 <u>※単なるフレーズの繰り返し練習では</u> ないことに注意!

【伯仙小公開授業における実践例】

本時のターゲットセンテンス "I want to go to ~."

徐々に子供が発話するようスモールステップの活動を 4(Small Talk)・5(LW&T)・6(Game)で設定

4・5・・・まずは教師が使って児童に聞かせ、教師との やり取りに子供を巻き込む(十分なINPUT)

6···7 (Activity) で自信をもって発話できるよう、 一人一人が何度も発話できる方法を工夫する

◆英語に不安がある先生は、「ター ゲットセンテンスだけはたくさん 使う」ことを意識しましょう!





これから、聞く活動を大切にしたいと思います。

「文字」から入る指導ではなく... (耳からの) INPUT → OUTPUT

小学校では、デジタル教材や映像なども活用し、音から入る指導を大切にする。



思考・判断を伴った言語活動にする ために、まず一旦やらせてみて、その 後に指導を入れるということを実践 したいと思います。

中学校でも重初 し*た*いポイント

「言語活動を通して」とは...

**言語活動**(まず取り組ませてみる)



指導(全体で確認し指導を入れる)



言語活動 (もう一度取り組ませる)

子供に言えるようになってほしい英語表現 は、「言語活動を通して」育成する。

<u>※ 活動に取り組ませながら、必要な指導</u> をする!



◆子供に切実感を持たせるには、活動前に教師がフレーズを与え<u>すぎ</u>たり、練習させ<u>すぎ</u>たりしないことがポイント!

### 【参加者からの感想】

- ◆ 学級で外国語の授業を行う際には、できるだけ コミュニケーションをたくさんとって、英語で話し たいと思います。担任(授業者)の笑顔や、やり 取りの大切さを感じました。
- ◆ 低学年担任で外国語活動の授業はないが、日々の言語活動や、コミュニケーションをより充実させていく必要性を感じました。
- ◆ (調査官のお話を聞いて)外国語の授業に対する高いハードルを少し下げていただいた気がします。



# 特別支援教育ほっと通信



令和2年2月 西部教育局

今回は、特別支援教育に関する参考資料を御紹介します。校内体制整備や指導・支援の場面 において、参考にしてください。

「教育支援資料 ~障害のある子供の就学手続と早期からの一貫した支援の充実~」 平成25年10月 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課

早期からの一貫した支援の重要性、障害の状態等に応じた教育的対応等 https://www.mext.go.jp/a\_menu/shotou/tokubetu/material/1340250.htm(文部科学省 ホームページ)

「学習障害者用デジタル教科書の効果的な活用の在り方等に関するガイドライン」 平成30年12月 文部科学省

学習者用デジタル教科書の制度概要、効果的な活用の在り方、使用上の留意点 等https://www.mext.go.jp/b\_menu/shingi/chousa/shotou/l39/houkoku/l4l2207.htm (文部科学省ホームページ)

【通知】平成31年1月15日 鳥取県教育委員会教育長(小中学校課)

「学習者用デジタル教科書実践事例集」 2019年3月 文部科学省

文部科学省 関係

鳥取県関係

デジタル教科書を効果的に活用するための方策や留意点の具体的な実践例 等 https://www.mext.go.jp/a\_menu/shotou/kyoukasho/seido/1414989.htm (文部科学省ホームページ)

【通知:メール施行】平成3|年4月2日 鳥取県教育委員会事務局小中学校課

「発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対する教育支援体制整備ガイドライン ~発達障害等の可能性の段階から、教育的ニーズに気付き、支え、つなぐために~」 平成29年3月 文部科学省

特別支援教育の考え方、学校における職務ごとの役割等 グhttps://www.mext.go.jp/a menu/shotou/tokubetu/l383809.htm(文部科学省ホームページ) 【通知】平成29年4月6日鳥取県教育委員会教育長(特別支援教育課)

「交流及び共同学習ガイド」平成31年3月 文部科学省

☆ 交流及び共同学習の意義・目的、取組事例 <sup>7</sup> https://www.mext.go.jp/a\_menu/shotou/tokubetu/010/001.htm(文部科学省ホームページ)

【通知】平成3 | 年4月 | 0日 鳥取県教育委員会事務局小中学校課

### 「就学事務の手引き」平成30年4月改訂 鳥取県教育委員会

教育支援の考え方、就学に係る手続き、資料作成要領等

https://www.pref.tottori.lg.jp/247422.htm (鳥取県教育委員会特別支援教育課ホームページ)

【通知】平成30年4月25日 鳥取県教育委員会教育長

### 「障がいのある方のよりよい暮らしのために」 2019年度版 鳥取県

障がいのある方への生活支援・医療・施設利用などのサービスや制度、相談機関 等 https://www.pref.tottori.lq.jp/221962.htm (鳥取県障がい福祉課ホームページ)

### 「特別支援学級における授業づくり」 平成27年4月 西部教育局

特別支援学級の授業、実態把握の方法、交流及び共同学習のねらい 等 https://www.pref.tottori.lg.jp/seibukyoiku/(西部教育局ホームページ)

特別支援学校学習指導要領(総則編、各教科等編、自立活動編)も是非参考にしてください。 また、「特別支援学級担任のための手引」については、現在改訂中です。改めて御紹介します。















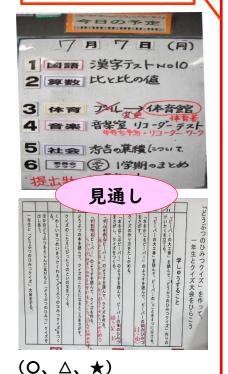






# 特別支援教育 ほっと通信

平成3 | 年2月 校長会お役立ち情報



### 西部地区特別支援学級 指導のポイント

□ 年齢や学年相応の言葉づかいをしている。

~5ゃん ⇒ ~さん ~だよね ⇒ ~ですね はやくしなさい ⇒ OO分までにしましょう

(◆、▼) で、 呼名の仕方等は校内で統一することが大切です。

### □ 指示は短く、具体的な言葉で伝えている。

筆箱を持って、後ろに並んで、図書室に行きます。 ⇒図書館に行きます。出席番号順に並びます。 持ち物は筆箱だけです。

(○、△、◆) (□ 指示を板書するなどの視覚化も有効です。

### □ 曖昧な表現を避け、できるだけ具体的な言葉で表現している。

だいたい、このくらいです。 ⇒ 縦30cm、横20cm、重さ10kgです。

【「具体的な表現を使うことで、思考のプロセスを確認することにもつながります。⇒「思考モデル」

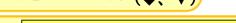
(O, ▼, ★)

### **暲がい特性に応じた対応をする中で、よりよい「言語モデル」を目指す。**

□ 時・場所・状況に応じた適切な言葉づかいを意識している。

(例)来校者と出会った場面で

- 御用件をお伺いいたします。
- 校長室でしばらくお待ちください。よろしくお願いいたします。 (◆、▼)



□ 声の大きさに気を付けている。

対応中の体の動きなども大切です。⇒「行動モデル」

声の大きさの視覚化

(例)声のものさし

現線を合わすこと、身振りや表情等も 大切です 大切です。



令和2年2月 西部教育局

### コミュニケーション



言語・視覚支援





 $(O, \Delta, \star)$ ※写真は平成28年12月号より

### □ 指示代名詞を使わず、具体的に話している。

「あれ」「それ」「あそこ」「そこ」

- ⇒ 体育館の東側の階段下に集合しましょう。
- 具体物を使ったり、図にあらわしたりするなど、他感覚に働きかける  $(O, \spadesuit)$

# 学校訪問から見えた成果と課題 ~特別支援教育の視点から~

### 【成果】

- 視覚支援を使いながら、短い言葉で説明をしている。(○)
- □ 声の大きさや抑揚を見える化している。(□)
- □ 学習の見通しを毎時間同じ方法で提示している。(△)

### 【課題】

- 時・場所・状況に応じた言葉づかいができていない。(◆)
- 年齢相応の言葉等を引き出すことができていない。(▼)
- □ 丁寧な文字で板書をしていない。(★) 等



【成果】についても、学校間での差、学級間での差が見られます。

子供たち一人一人の力を最大限まで高めるために、来年度も「指導のポイント」を確実に実行しましょう。

子供たちにとって、よりよい「言語モデル」になっていますか? 要再確認!